

伊方町農業支援センターだより

Farmer's Communication Magazine For IKATA Member's

伊方町では国、県及び町単独により様々な補助事業を実施しています。

令和7年度の補助事業実績は下記のとおりです。

補助率、事業メニューは県下でも最高水準となっていますので、ご自身の経営改善にあった事業があれば是非活用しましょう。

令和7年度実績 (主なもの)

果樹経営支援対策事業	5,945 千円
未来型果樹産地強化支援事業	1,360 千円
農林漁業振興事業	4,959 千円
柑橘高品質対策事業 (タイバック補助)	631 千円
鳥獣害防止施設整備強化事業	1,716 千円
有害鳥獣被害防止対策事業 (鉄筋柵、電気柵整備事業)	1,383 千円
捕獲隊等育成事業	792 千円

農林漁業振興事業



クローラー運搬車

有害鳥獣被害防止対策事業 (鉄筋柵・電気柵整備事業)



電気柵

今年度の補助事業については、次ページをご参照ください。

CONTENTS

- 1～2. 補助事業について
- 3. 伊方町農業支援センター 業務内容・スタッフ紹介
- 4. 新規農業者アンケート
- 5. 鳥獣害対策番組のお知らせ
- 6. 鳥獣供養祭を開催しました
- 7. 伊方町地域おこし協力隊を紹介します！
- 8. 農業者年金に加入しましょう！

伊方町イメージキャラクター
サウジデー



No.48

企画発行/伊方町農業支援センター
〒796-0301 西宇和郡伊方町湊浦 1993-1
伊方町役場本庁2階 農林水産課内
TEL(0894)38-2651 FAX(0894)38-1373

◆瀬戸・三崎地域の受付窓口◆
瀬戸支所地域住民係 TEL(0894)52-0111
三崎支所地域住民係 TEL(0894)54-1111

農業者のみなさん。いろいろな補助事業を知っていますか？

ご自身の経営改善にあった事業があれば活用しましょう。



※要望とりまとめが既に終了している事業もありますので、農業支援センターまでお問い合わせください。

生産・施設・機械等に対する補助

国・町	果樹経営支援対策事業	内容：優良品種への転換や小規模園地の整備を支援し、競争力の高い産地を育成する。 園内道整備、モノレール整備、用水灌水施設整備、改植 補助：国 1/2 町 2/10 受益者 3/10
県・町	果実供給力強化支援事業 (旧未来型果樹産地強化支援事業)	内容：未来型果樹園の創造とブランド果実の安定供給による儲かる果樹農業の確立を目指し、産地の強化を図る。 紅まどんな・甘平等の屋根掛け施設整備、モノレール整備（動力車・台車・カバー）等 補助：県 1/3 町 1/3 受益者 1/3
町	農林漁業振興事業	内容：農業者が行う機械及び施設の整備に対し補助金を交付し、生産性向上並びに所得増大を図る。事業費が5万円以上であること。 モノレールのレール更新、動噴、選果機、ウッドチップパー、運搬車等 補助：事業費（税別）から5万円を除いた残額に対し、町 1/3（認定農業者は 1/2）
町・J A	柑橘高品質対策事業	内容：気象に左右されにくい高品質果実生産を行うためにはマルチ栽培が基本であり、タイベック被覆による高品質対策を講じる。 タイベックマルチの導入 補助：町 30 円 / m ² 共選 20 円 / m ² J A 30 円 / m ²

鳥獣被害対策に対する補助

県・町	鳥獣害防止施設整備強化事業	内容：鳥獣害防止対策をより効率的に推進し、生産意欲の向上に資する。 鉄筋柵、電気柵の整備 要件：受益戸数2戸以上（認定農業者は1戸から可） 補助：県 1/3 町 1/3 受益者 1/3（自力施工による資材費のみ）
町	有害鳥獣被害防止対策事業	内容：国・県補助事業の採択要件に合わない園地の防護柵整備を進め被害防止に努める。 鉄筋柵、電気柵の整備 要件：受益戸数1戸から可 補助：町 1/2
県・町	捕獲隊等育成事業	内容：狩猟免許取得及び狩猟登録に係る費用を補助し、捕獲体制の強化を図る。 要件：狩猟免許を取得し猟友会に入会後、有害鳥獣捕獲を行うこと 補助：8/10（免許取得費、狩猟登録費用（猟友会費相当分））

※ 各事業は、記載している要件以外にも細かい要件がありますので気になる事業がありましたら農林水産課までお問い合わせください。

伊方町農業支援センター業務内容・スタッフ紹介

業務 / 内容	役職		氏名
地域営農に関すること 中山間地域対策事業、農業担い手支援、農業振興対策推進等に関すること。	所長	(JA経済課)	梶谷 真一
農業振興に関すること 地域にマッチした農業振興策の推進に関すること。	課長	(役場農林水産課)	菊池 拓也
	課長補佐兼所長	(役場農林水産課)	橋本 利彦
	主査	(役場農林水産課)	坂口 文香
新規就農者支援に関すること 新規就農者相談指導に関すること。	係長	(役場農林水産課)	松平 大
	主事	(役場農林水産課)	篠澤 莉緒
地域支援に関すること 補助事業相談指導、鳥獣害対策に関すること。	係長	(役場農林水産課)	松平 大
	主事	(役場農林水産課)	篠澤 莉緒
土地改良区に関すること 畑かん施設の修繕(補助)に関すること。	課長補佐兼所長	(役場農林水産課)	橋本 利彦
	主事	(役場農林水産課)	堀田 有希也
営農指導 営農指導、補助事業、無料職業紹介、農地流動化、青壮年同志会事務局、女性部事務局、税務指導、農業者年金、労働災害保険、農作業支援、南予用水、伊方町共同防除組合事務局	嘱託参与	(JA)	井上 常利
	営農指導員	(JA)	山西 崇弘 (町見兼務)
	生活指導員	(JA)	山下 栄子
	営農指導課	(JA)	松平 満

R8年4月より町見担当の指導員がなくなり、伊方・町見兼務の体制となります。

関連窓口

伊方町役場 (支所地域住民係)

瀬戸支所 係長 松本 勇太
三崎支所 主査 中村 充希

八幡浜支局 地域農業育成室

主幹 小笠原長賢
担当係長 二宮 福雄
技師 古谷 寿浩

JAにしうわ (営農指導員)

瀬戸事業所 山下 誠治
三崎出張所 竹中 義雅



新規農業者アンケート



たに がみ ゆう や
谷上 雄哉

1. 就農したきっかけは？

将来農業をするのに無知ではなかなか難しい
と思ったため。

2. 農家に対するイメージは？

第一次産業の要。

3. 今後の目標は？

体調を見ながら農業を覚えて試行錯誤出来る
ようにする。

4. 伊方町に望むことは？

新しい若手の担い手作り。

5. 活用助成金

新規就業者支援対策事業

お知らせ

鳥獣被害が深刻となる中、八西地域の加害獣の生態や被害実態の他、地域農業者はもとより地域住民がどのように対応するかをCATVによる番組製作にまとめましたので視聴してください。

なお、番組放映は7月以降になりますので、放映日時はCATVの番組案内やインターネット等でご確認ください。



イノシシは、温暖化の影響や農村の過疎化によって、生存個体が多くなり、農作物被害はもとより、生活や人身への被害として人間社会を脅かすようになりました。番組では、警戒心が強い生態の特徴や被害実態について紹介します。



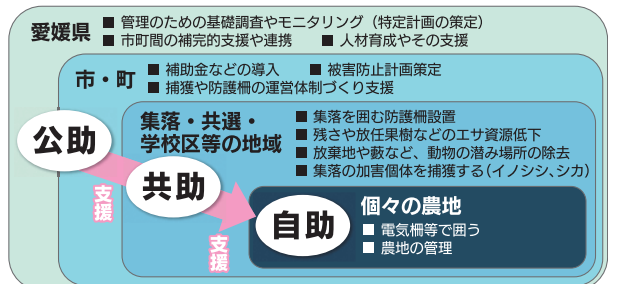
八西地域では、H25年に初めてシカが確認されてから、R6年には51頭が捕獲されており、将来的な八西ブランド産地の脅威となっています。

番組では近隣市町の被害や県内の捕獲実態の他、現状の生息数調査から八西の将来予測について学びます。



様々な対策技術の他、最も肝要なみんなで取り組む効果的な対策についてご紹介します。

野生動物管理・獣害対策の主体間の役割





鳥獣供養祭を 開催しました

春のお彼岸に合わせて伊方町猟友会は、令和8年3月28日にイノシシ等の供養祭を供養塔が建立されている堂々山で行いました。

妙楽寺の住職を招いて会員12名と役場農林水産課の内山さんが参加し、お経にあわせてそれぞれが焼香しました。

令和7年度はシカ・タヌキも含めて150頭あまり捕獲しました。同じこの世に住む動物達には申し訳なく思いますが、一生懸命育てた農産物の被害にあった農業従事者としては、耐えられないものがあります。皆で哀悼の意をささげました。

猟友会長 門田 元



伊方町地域おこし協力隊を 紹介します！

伊方町地域おこし協力隊 日浅 祥

こんにちは！事業提案型として活動している日浅祥です。伊方町に来てはや2年が経とうとしています。協力隊としての任期もあと1年ですので、今後でもできることを全力で取り組んでいきたいと思えます。

さて、これまでの2年間の活動として、①柑橘ジュースの味を数値で「見える化」する研究や、②柑橘の果皮（搾汁残渣）の新しい使い道の開発について取り組んできました。特に果皮の活用については、昨年、新しい技術として特許出願を行うことができました。



この研究では、これまでとは違う方法で、柑橘の皮から新しい性質を持つペクチン質を取り出すことに成功しました。これまであまり活かしきれなかった「皮」に、新たな価値をつけられる可能性が見えてきています。もし柑橘の皮の価値を高めることができれば、柑橘そのものの価値も上がり、結果として農家の収入アップ

にもつながると期待しています。柑橘に新しい価値を見つけることで、「柑橘農業はしっかり稼げる仕事だ」と思えるような産業に少しでも近づけたらと考えています。

今後は、特許の登録を目指すとともに、起業に向けた資金づくりにも取り組んでいく予定です。起業にあたっては、地域にある資源の新たな活用方法を模索しながら、企業との連携も進めていきたいと考えています。あわせて、地域全体で価値を高めていけるような仕組み作りにも挑戦していきたいです。

これまでにない商品を形にし、農業全体の力を底上げし、「稼げる農業づくり」に少しでも貢献できればうれしいです。

若い農業者の 皆さん！ 自分の老後 自分で守れますか？

若い
今こそ年金
アクション！

若い農業者の方は、**国民年金の上乗せの
公的な年金「農業者年金」**に加入して
安心して豊かな老後を！

ポイント

1

国庫補助で手厚い支援！
1万円の自己負担で**2万円の積立てが実現！**

ポイント

2

早く加入すれば、**国庫補助が長く受けられる**

ポイント

3

自ら支払った保険料は、
全額社会保険料控除の対象！
さらに**保険料は自由に選べる！**

農業者年金の内容やご相談については、
最寄りの農業委員会かJAまたは農業者年金基金に
お問い合わせください。

独立行政法人 **農業者年金基金**

● 専門相談員

TEL : 03-3502-3199

● 企画調整室

TEL : 03-3502-3942